

平成 22 年度事業に関する事後評価

I 総合評価

地域の主体的な取組みと創意工夫による公共交通の活性化・再生を通じ、個性豊かで活力に満ちた地域社会実現に寄与するために適切な事業を選び出し、当該事業を本格実施する環境を整備するための検討を行ったか。

高齢化率の高い当町において町民生活の足確保は重要な課題と捉え、地域の公共交通を活性化し地域を活性化するために適切な事業を選び出し、実証運行を実施する中で、その問題点の検証、事業の見直しの要否の検討、事業費の抑制と財源の確保等、本格実施する環境の整備に向けて必要な検討を行った。

II 計画事業の実施

- ① 事業計画に位置づけられた事業が適切に実施されたか。事業計画に位置づけられた事業が事業計画どおりに実施されなかった場合には、適切な理由等が明らかにされているか。

山形直行バスについては、平成 21 年度まで山交バス株式会社に委託をしていたが、平成 22 年 4 月から町直営での運行を開始した。12 月末現在の利用者数は 5,554 人で 1 日平均利用者数は、平成 21 年度の 22 人から平成 22 年度は 35 人程度と大幅に増加しており町民の足として必要性が高まっている。

デマンドタクシーについては、平成 22 年 4 月から事業計画に基づき、デマンドタクシーの実証運行を実施しており、12 月末現在の利用者数は 9,660 人、1 日平均 52.2 人となっている。町内全域でのデマンドタクシーの実証運行については、山交バス株式会社との競合区域を除き、平成 23 年度から実施することで関係機関と協議がなされた。

III 具体的成果

- ① 定められた評価方法・評価基準にしたがって、評価事項について事業を評価したか。その際、事業の効果・影響とそれ以外の効果・影響を分離して評価したか。

山形直行バスについては、山形市内までのアクセス向上等住民生活の質的向上は、定期券以外の利用者を把握し評価を行った。片道定期券及び往復定期券購入者を把握し、アンケート調査を行うなどして評価を行った。一般乗合バスへの影響を、平均乗車密度で評価した。

デマンドタクシーの実証運行については、総合事業計画において、アンケート調査による住民ニーズの分析で事業評価を行うこととしているが、計画のとおりアンケート調査を行い事業評価を行った。

- ② 実施した事業が地域公共交通に関する目標を達成するために適切な事業であるかどうかを検証したか。

山形直行バスについては、実際に通勤・通学の利用者が増加していることが確認された結果、山形市へのアクセス向上という目標を達成するために適切な事業であると判断される。

デマンドタクシーについては、運行区域以外からも早急に進めてもらいたい旨の要望が出てくるなど、町民、特に高齢者等が自家用車等に頼らず安全で安心して移動できる町民の足として期待されている事業であると判断される。

*必要に応じて、参考資料を添付して下さい。

IV 自立性・持続性

1 事業の本格実施に向けての準備

① 実施した事業を翌年度実施するにあたって問題点があるかどうかを検証したか。

山形直行バスの実証運行については、往路は高校生を中心に利用者が定着しているが、復路の利用者は1日平均5.1人と少なく、全体的な利用者数の確保と経費削減による収支率向上、及び本格運行に向けて運行を継続させる仕組みの確立が課題と認識しており、アンケート調査等を実施し問題点の検証を行っている。

デマンドタクシーについては、平成22年度の実証運行の結果を踏まえ、アンケート調査等を実施し問題点の検証を行っている。

② 実施した事業について利用者数が想定をかなり下回るなど効果が現れていない場合には、翌年度事業を実施するにあたって必要な見直しを行っているか。翌年度も同じ事業を実施する場合には、適切な理由等が明らかにされているか。

デマンドタクシーの実証運行については、午前中の下り便が少ないことを挙げているアンケートが多かったため、より多く利用してもらうため、午前中の下り便を増便する予定でいる。

2 事業の実施環境

① 当該事業の翌年度実施のための財源について検討を行い、財源の目処がついたか。

平成23年度において山形直行バス及びデマンドタクシーの実証運行、デマンドタクシー運行エリア拡大に向けた準備を実施するにあたっては、町の実施計画及び過疎計画に掲げ国費のほか、過疎債を充当するなど朝日町からの財政支出によることで町振興対策審議会や町議会全員協議会で合意が形成されており、町の平成23年3月議会に平成23年度予算案を提出し、町議会で審議してもらうことになっている。

② 住民等による自主的な利用促進、啓発等の活動や協賛金拠出への協力等当該事業を翌年度実施する環境を整備しているか。

デマンドタクシーの実証運行にあたり、朝日町商工会、宮宿中央通り振興会が中心となりデマンドタクシーの利活用について検討を行っている。平成23年度の実証運行についても話合いの結果を反映したものとなっている。

③ 当該事業の本格実施のための財源について検討を行ったか。

過疎地域において町民の足を確保するには、町からの負担金が必要であり、町の実施計画及び過疎計画に掲げ町振興対策審議会や町議会で合意が形成されている。

*必要に応じて、参考資料を添付して下さい

V 住民の参加等による地域関係者の実質的な合意形成

- ① 協議会における審議事項が明確に定められ、計画事業の進め方、実施状況について審議される体制となっているか。

平成21年2月に開催された朝日町地域公共交通会議において、「朝日町地域公共交通活性化協議会規約」等の諸規程が決定されている。協議事項として、連携計画の作成及び計画の変更に関する事項、連携計画の実施に関する事項、その他協議会が必要と認める事項と規定されている。

- ② 協議会に住民が参加したり、住民の意見が反映される仕組みが設けられているか（公募制、住民意向調査等の実施が協議会の運営要領において定められているか。）。

法定協議会の構成員には住民又は利用者の代表として、町区長会副会長が含まれている。また、町民各層で組織する朝日町町民バス等運営委員会を開催し町民の意見を聴取すると共に、実証運行の問題点や満足度を調査するためアンケート調査した。

- ③ 計画事業を実施するにあたって協議会が適切に開催されているか。

平成22年度第1回協議会では計画事業に係る自己評価報告案について審議されており、適切に開催された。

- ④ 協議会の議事が傍聴、議事録や関係資料の公開等によって適切に開示されているか。

協議会規約において、会議は原則として公開としている。

- ⑤ 地域公共交通に関する目標を達成するために適切な事業を翌年度実施することについて地域関係者の実質的な合意が形成されたといえるか。

山形直行バス、デマンドタクシーの実証運行を来年度実施することについては、朝日町町民バス等運営委員会で協議するなど関係者の合意形成が行われた。

*必要に応じて、参考資料を添付して下さい

朝日町・山形市間直行バス実証運行利用状況

《往路利用》 平成21年

月別乗車 人数	平成22年												21年 度計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
太郎公民館 太郎													
新崩													
郵便局前	86	98	122	98	45	96	92	75	81	76	65	54	988
水口	21	22	30	23	14	24	21	18	19	20	22	21	255
西小前	2	2		1	1	1	1	0	3	3	0	0	14
笨電所前	13	16	22	9	3	14	20	19	12	10	3	2	143
農協支所前	2			0	0	1	0	3	1	1	0	0	8
双葉団地前	12	15	9	3	4	2	2	1	0	1	2	1	52
西船渡	26	34	43	30	18	36	39	34	36	42	45	35	418
助ノ巻	27	21	26	20	13	24	27	20	17	16	7	2	220
西ノ沢	11	3	0	0	1	2	5	0	0	0	0	0	22
朝日町役場前	89	93	132	112	44	93	89	71	87	77	93	58	1,038
本町	17	22	23	20	10	20	11	9	6	15	20	6	179
大町	13	16	20	16	3	18	22	26	20	30	20	13	217
小学校前	3	3		2	2	1	0	5	1	2	4	0	20
前田沢	0			0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
朝日中前				3	6	2	0	11	13	2	6	2	45
四ノ沢南													0
四ノ沢	71	78	107	78	47	91	94	77	60	80	65	41	889
古楨	2	1		2	0	0	2	0	2	3	2	0	14
中堰	1			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
送橋警備所前	3	4	4	5	5	4	3	1	0	2	0	0	31
乗車人数計	385	436	541	422	216	434	428	370	358	380	354	235	4,559
運行日数	18	18	22	22	21	19	21	19	22	19	19	22	242
平均/日	21.39	24.22	24.59	19.18	10.29	22.84	20.38	19.47	16.27	20.00	18.63	10.68	18.84

《復路利用》

月別乗車 人数	平成22年												21年 度計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
山交バス本社前	2	4	7	7	0	8	2	1	3	9	2	1	46
山形駅西口	31	23	64	24	18	28	27	21	17	29	31	21	334
山形市役所前	24	27	12	10	9	20	30	28	25	24	14	3	226
城北高校前	0	0	0	0	0	0	0	13	9	12	14	2	50
北駅西	6	0	10	8	2	9	10	3	1	1	1	0	51
山辺駅	8	10	7	15	2	9	5	11	7	4	9	1	88
山辺町南公園前													
乗車人数計	71	64	100	64	31	74	74	77	62	79	71	28	795
運行日数	18	18	22	22	21	19	21	19	22	19	19	22	242
平均/日	3.94	3.56	4.55	2.91	1.48	3.89	3.52	4.05	2.82	4.16	3.74	1.27	3.29

《復路往復定期による山交バス利用》

乗車人数計 運行日数 平均/日	平成22年												22年 度計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
乗車人数計	52	58	77	62	21	47	44	51	58	56	38	13	577
運行日数	18	18	22	22	21	19	21	19	22	19	19	22	242
平均/日	2.89	3.22	3.50	2.82	1.00	2.47	2.10	2.68	2.64	2.95	2.00	0.59	2.38

朝日町デマンド型タクシー利用状況

単位:人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均/日
利用人数	大人	987	885	1,069	1,102	1,103	981	1,111	1,116	1,114			9,468	51.18
	小人	21	10	25	18	28	15	15	13				145	0.78
	幼児	1	1	4	0		3			2			11	0.06
計	1,009	896	1,098	1,120	1,131	996	1,129	1,129	1,116				9,624	52.02
運行日数	21	18	22	21	22	20	20	20	21				185	
平均/日	48.05	49.78	49.91	53.33	51.41	49.80	56.45	56.45	53.14				52.02	

最高利用人員 9月17日 97人